

宮沢賢治の童話を  
読んだことがありますか？  
言葉のリズムが音楽のように  
私を癒してくれます。



人生の半ばを過ぎた大人たちに訪れた「文字」からはじまる恋の物語

# あいたくて あいたくて あいたくて

丸 純子 浜田 学

川上なな実 柴田明良 青山フォール勝ち 山本愛香 足立 英 青木将彦 松浦祐也 川瀬陽太

脚本・監督：いまおかしんじ

企画：利倉 亮 プロデューサー：江尻健司 アシスタントプロデューサー：山田剛史 竹内宏子  
撮影：山本英夫 録音：大塚 学 装飾：魚住和伸 小林岳郎 編集：蛭田智子 助監督：森山茂雄 メイク：中林季美子 音楽：村山竜二 音響効果：藤本 淳  
演技事務：関根浩一 営業統括：堤 亜希彦 製作：レジェンド・ピクチャーズ 配給宣伝：ムービー・アクト・プロジェクト 配給協力：ミカタ・エンタテインメント  
2022年/日本/78分/カラー/ステレオ R-15作品 ©レジェンド・ピクチャーズ



本を読むと気持ち  
明るくなるんですね。  
だから今、とても新鮮です。

(映画芸術2020ベストワン)

# 『れいこいるか』のいまおかしんじ監督が綴る、 文字から始まる不器用な大人たちの “ディスタンス”ラブストーリー

Distance  
Love Story 

**Story** その恋は壊れた人形から始まった——。

一年前に夫を亡くし夫の残したタイ料理屋を一人で切り盛りしていた淳子は、店に置くハンドメイドのテーブルを通信販売で購入する。送られてきたテーブルは素朴で気に入ったが、オマケで送られてきた人形の首が取れていた。淳子がメールすると、家具職人の裕司から「人形を送りなおす」と返事がくる。

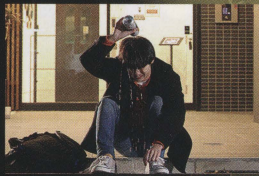
そもそも unnecessary なものが送られてきたことに苛立った淳子は「親切の押し売りはやめて、あなたは宮沢賢治の『ツェねずみ』のねずみにそっくりです」と再度返信。一方の裕司は生真面目すぎるバツイチ男。夫との死別から立ち直ろうとする淳子と裕司の心の交流が観る者の心を温かくする。人生の半ばを過ぎた大人たちに幸せは訪れるのか？

## Introduction

言葉を重ねるたびに心が動き出していく、  
優しくゆっくりと……。

メールやチャット、SNSなどネットによるコミュニケーションが普及し、会ったこともない人との会話が成り立つ世の中で、ほんの些細なやり取りから始まる大人のラブストーリー。

夫を亡くし大学生の娘と暮らす主人公・淳子役をキュートに演じるのは癒し系No.1女優・丸純子。淳子とのメールのやり取りを通して人生の楽しみを知る家具職人・裕司に「日本沈没一希望のひとり」の名優・浜田学。裕司の元妻・かすみ役に『TOKYO VICE』出演の川上なな実。他、二人を取り巻く人々に川瀬陽太、松浦祐也、お笑いトリオ「ネルソンス」の青山フォール勝ちなど個性豊かな面々が顔を揃えた。『れいこいるか』で映画芸術2020年ベストワンを受賞したいまおかしんじが日常のささやかな幸せを描く。



公式HP  
[legendpictures.co.jp/aitakute](http://legendpictures.co.jp/aitakute)